

8月18日

福者マネス・デ・グスマン 司祭 記念

聖ドミニコの兄



福者マネスは非常に誠実、単純な人でドミニコ会創立後間もなく入会し、人々との霊魂の賢明な指導者として有名になり、その柔和な態度と祈りにより、「多くの霊魂を勝ち得、神の御手に渡した。歩み始めたばかりのマドリードのドミニコ会修道女たちの共同体が、聖ドミニコによって彼の監督下に置かれることが適当であると認められ、後にはフランスにおけるドミニコ会の発展のためにも、彼はかなりの援助をしている。初期の資料によると彼は「行いのまっすぐな、柔和、謙遜、陽気で親切な、熱烈な説教者」とある。弟ドミニコの後に（1234年以後のことであるが）カレルエガに近い、サン・ペドロ・デ・グミエルのシトー会修道院で帰天。その墓でも多くの奇跡があったので、人々の尊敬を受けるようになった。

1833年、教皇グレゴリオ16世により、崇敬が認可された。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）による改定版から